

大牟田RC寄稿

日本・台湾の学校つなぐ

ICT活用 海洋教育交流を推進

<下>

大牟田ロータリークラブ(RC)では70周年の記念事業として、大牟田の海洋教育推進校に「宝の海プロジェクト」を支援してきた。このプロジェクトでは、諏訪川カヌー体験、海洋ごみからの環境学習、クルーズ船からの海の学び、ガゼミの放流事業などを支援、実施してきた。また2024年1月には台湾で海洋教育に力を入れている鼻頭、八斗の2国民小学校と大牟田3小学校をインターネットでつなぎ、I

CT(インターネット・コミュニケーション・ツール)による海洋教育実践交流会を開催した。この交流をきっかけに24年11月には、台湾新北市にある小学校10校の校長先生方とPTA会長の訪問団が、玄海町と玄海みらい学園の視察で来日。25年の1月31日には海洋教育玄海子どもサミットが開催される予定であり、佐賀県の唐津青翔高校や唐津市呼子と東唐津小学校、玄海みらい学園、鹿児島県の奄美市赤

木名小学校のほか、大牟田市のみなと小学校が参加予定である。台湾からは鼻頭国民小学校も参加を表明した。また、2月には玄海みらい学園と鼻頭国民小学校のICT交流会が開催されることが決まった。玄海町と台湾の新北市との交流への展望の話も出ており、海洋教育の実践交流はまちづくりの未来絵図を描き、希望の架け橋になりつつある。

このように「宝の海プロジェクト」でグローバルな展開が継続されることは大変喜ばしく、今後大牟田RCは、友好関係を結ぶ台北市101RCの協力の下、子どもたちの国際交流がさらに発展するよう支援していきたい。

交流が希望の架け橋に



玄海みらい学園への台湾からの視察団

大牟田市から始まった海洋教育国際交流のステージが玄海町に移りつつも大牟田RCは、友好関係を結ぶ台北市101RCの協力の下、子どもたちの国際交流がさらに発展するよう支援していきたい。

(大牟田RC会長、富永宗嗣)